



**健康講座で、知識を身に付け
元気で、長生きしませんか？**

JR八尾駅 徒歩5分
TEL 072-991-3398
URL <http://www.tamagobu.com/>

2006 現在の日本医療再生への提言

1月号 現在の日本では慢性疾患の患者主体の予防が必要とされている

*疾病構造の変化により慢性疾患の予防とケアが医療の中心に
*EBM根拠にもとづく医療の最も信頼性の高いレベル1の根拠をランダム化比較試験による医学的な統計データに何故おかねはならないのか

2月号 「健康体」を理解すれば慢性疾患に対し患者主体の予防ができる医師の専門性を活かせる！

*なぜ、現在の医療は慢性疾患を予防できないのか？

*WHOの健康の定義では問題解決にならない理由

*人体が有する適応力と「健康体」という新たな考え方

3月号 「健康体」を理解すれば慢性疾患の予防ができる薬害・医療過誤を防げる

*「健康体」の意義 「健康体」の3大特徴 「健康体」の特徴からの変化

*「健康体」と慢性疾患の関係

4月号 肺転移後の前立腺ガンを内臓調整で克服

*Nさん(60歳)の症例

LH-RH療法・アンチアンドロゲン療法と内臓調整

5月号 「健康体」の3大特徴がガンを防ぐ

*何故、末期ガンになるまで人間ドックで分からなかったのか？

6月号 ガン・脳卒中・心筋梗塞は予防できる

*Nさんに対するホルモン療法をなぜ中止する必要があったのか？

7月号 患者と医師の信頼を深める「健康体」の3大特徴

*たまご理論による肺転移後の前立腺ガンに対する統合医療を時系列でみる

8月号 脊髄ガンからの肺転移を克服し社会復帰

*Yさんの治療経過、何故インターフェロン・抗がん剤を中止できたのか？

9月号 肺ガンの1次予防は内臓の活性化と禁煙

*現代医学の「肺ガン」に対する1次予防「たばこ」の問題点

*現代医学の「肺がん」に対する2次予防「検診」の問題点

*「肺がん」と内臓の動きの注目すべき関係について

10月号 肺がん予防は「健康体」の変化を検査すること

*新たな発想に基づく「肺がん検診」への提案

11月号 肺がん治療の基本は内臓調整

*新たな発想にもとづく慢性疾患としての「肺がん」治療の考察

*現代医学の「肺がん」に対する治療の問題点

健康体を生かす医療

たまご理論で病気のしくみを考える

たまごビル院長 石垣 邦彦

河内新聞掲載分バックナンバーができました。現在の医学を変革する新しい発想です。バックナンバー、また今後「健康体」を生かす医療掲載紙を購読ご希望の方は、河内新聞社 072-991-0539、FAX 072-992-8030にお申し込みください。

2006 人類38億年の宝〈健康体〉を活かす医療

1月号 生きるとは食べること、食べるとは取り入れ・消化・吸収・排泄

*原腸陷入(げんちょうかんにゅう)とはなにか？

2月号 生き物は命をつなぐために生きている

*命をつなぐために生きるはどういうことか？

3月号 人の一生は生物として生まれ・生き・死ぬこと

*人間は食べられて生きている生物

*殺されずに生きている生物

*自然に適応して生きている生物

4月号 生物としての死は私たちを生かす大切な役割

*死の役割とは何か？

5月号 私たちの個人的な「死」も子や孫・社会を活かす大切な役割

*「がん患者学」をあらわした作家・柳原和子さんのことば…

『誤解を恐れずに言うならば正しさ、真実以前に間違ったとしても、温かい手で握りしめながら、私をまだして安らかに死なさせてくれたらそれが私にとって多く、かなり多数の患者たちにとって、最も素晴らしい臨床医療であるかもしれない』…末期とは、そういう時期なのではないか？ 間違っても、万が一治ったとしても私は闘った！闘えば勝つなどという言葉を吐かないようにしたい】

6月号 私たちの社会生活は生物として生きることが基本

*死の準備ができていない現代の日本人

7月号 食べられる豊かさを私たちはどう活かせばいいのか

*人間として意識をもち社会生活の中で生きることと、生物としての人として生きることの両者の生き方を同時に送る存在

8月号 貧困を知ることが食べられる「豊かさ」を活かす

*ニート・引きこもりの原因は何か

9月号 自殺の根本原因是食べられる「豊かさ」にある

*食べられる幸せが不幸の始まりとはどういうことか

10月号 食の「ありがたさ」を忘れ、自ら病をつくる日本人

*生命を食して生きている私たち・人間

*先ず胃腸ができ、それから心臓・脳ができた！ それはどうしてか？

11月号 時代が変化しても生物としての人間は変わらない

*現代医学の長所はなにか、短所はなにか、どう活用するか

2007 私たち一人一人に備わる〈健康体〉を活かす医療

1月号 人は楽しむために生まれてきた

*健康体と慢性疾患の関係—医学における新たな発想

2月号 薬に頼らず慢性疾患を予防する・治療する

*慢性疾患に信頼できる予防基準がないため薬害がおこる

*アメリカでは「薬の副作用」が死亡原因の第4位！

*医師にも患者にも不安な投薬状況

3月号 多種類の慢性疾患をたまご理論で同時解決

*健康体と慢性疾患の図を見ると同時解決の意味が分かる

4月号 慢性疾患の診断と治療にはその方の人生を知る必要がある

*Nさんの人生とNBM(一人ひとりの語られる物語とその方との対話を通じて、個別に、一人ひとりの病気を愈す医療)

5月号 老人の死に至る肺炎は予防できる

*Nさん(88歳)の肺炎の原因は心臓にある

*抗生素質なしでNさん(88歳)の肺炎を治す

*Nさん(88歳)の肺炎を予防する

6月号 高齢者の肺炎予防のポイントは静脈還流にある

*静脈還流の「しきみ」を応用して心臓の働きを助ける

7月号 高齢者の肺炎死の原因は体全体の機能低下状態にあり強力な抗生素質も効果が少ない

*高齢者の肺炎が難治化する理由(東京都老人医療センター呼吸器科長木田厚瑞D R)

*難治化する理由を内臓調整で解決する「しきみ」

8月号 高齢者の体全体の機能を低下させ薬の副作用！ これをどう解決するか？

*加齢と老化にともなう体全体の機能低下を治す薬も手術もない

9月号 人体の正常構造と機能=「人体のしきみ」を最大限に活かし肺炎を予防する！

*医学は体全体が表す「人体のしきみ」を生かす必要がある

*「食べられる」ことが体全体の機能を高める

*内臓調整で「食べられる」状態をつくる

10月号 新しい発想「上腹部の柔軟性」と大陸移動説

*大陸移動の「しきみ」と人体を動かす「しきみ」

11月号 高齢者のくすりの副作用を予防する

*高齢者のくすりの副作用に抜本的な問題点を提案する

*その問題点を根本的に改革する

2008 自然の一部である「人体のしきみ」健康体を活かす医療

1月号 自然の「しきみ」を生かした予防に勝る治療なし！

*現代医学の晴柔らしさをどう生かすか？

*耕さない米作り、山を活用した酪農

2月号 慢性疾患予防の要は腸の「しきみ」を生かすこと

*今日の世界的大不況は人類にとって一つの好機！

*土地本来の木を植える植林

3月号 ①現代医学の最先端の現状と問題点

*「腰痛」の原因の85%は不明である

*心理的ストレスがどうして、腰に加わる力を増加させるのか？

4月号 ②胃腸の働きと「腰痛」の関係を解く！

*胃カメラで異常なしとはどういうことか？

*腹いっぱい食べたとき腰はどうなるか

5月号 ③胃腸の弱りで上腹部が固くなり「腰痛」が発生する

*「上腹部の柔軟性」と体の各部分にかかる力との関係を発見

*食べ過ぎてもお腹の痛みはないといいことか？

6月号 ④上腹部を固くする「生活」上の「原因」と「腰痛」の関係を解く

*「食習慣」—「失体感症」—「腰痛」の関係

*Tさん84歳の疑問「なんでだっしゃろ」を解決する。

7月号 ⑤「腰痛」から、現代医学が抱える問題点の根本原因を解く

*デカルト・近代医学・現代医学=複雑な関係を断ち切った考え方

8月号 ⑥なぜ高齢者は「腰痛」と相前後して多種類の症状が体に現れるのか？

*体全体の動きが低下して「腰痛」がおこる

9月号 ⑦「上腹部の柔軟性」の出現とともに、腰が伸びる・膝が伸びる

*老若男女に人体の基本の「しきみ」は共通

10月号 ⑧「上腹部の柔軟性」と食べること・胃腸の動き・体の中心「腰痛」との関係を解く

*体の中心はどこにあるか

*体の中心にかかる力と「上腹部の柔軟性」の関係

11月号 ⑨「上腹部の柔軟性」をつければ「腰痛」の予防ができる

*具体的な患者主体の根本的な予防法を提案する

11月号 インフルエンザは、かぜ？

*ワクチン・タミフル・解熱剤は有効か

*根本的な予防法を提案

2010 体全体を表す「人体のしきみ」健康体を活かす医療

1月号 ガンは私たちの仲間だ！

*新たな発想でガンの予防・治療・人生を考える

*ガンの全体像を捉えることはできないですか？

*ガンとは一体何か？！

*新たな視点を提案する

2月号 「生きている」とは「いのち」をつないでいること

*ガン専門医の疑問・悩み・提案

*近代科学・現代医学の矛盾

*